

誰がだれかな？



(上) 水曜学校で
小学4年生の頃
(1994年)



(左) 20才になって!!
本堂で祝賀会
「酒が飲めるぞ～」
(2005年1月1日)

ようこそ

第4号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL097-527-6916

FAX097-527-6949

二十歳の旅立ち

「天人ともに仰ぎみる」阿弥陀ほとけの尊しや
「十二月三十一日大晦日の夜十一時。本堂に懐
かしい顔が並び『らいはいのうた』のお勤めが始
まりました。」

初めての仏前成人式です。二十歳の新成人六名
が集いました。久しぶりの顔、顔、顔です。小学
生の頃、水曜学校(子ども会)に通ってくれた面々
です。少ししわがれた声ですが、しっかりとお勤
めができました。お話も実に神妙な顔をして聞い
てくれました。

子ども会では、お勤めの時間に、隣り同士で話
したりふざけたりして、「反省しなさい」と本堂
の後ろ廊下に座らせたこともありました。言うこ
とを聞かないで、何度も何度も私たちを困らせた、
やんちゃな悪ガキが、今はこんなに大きくなって、
本当に大人になったなと話したことです。

二十歳は人生の通過点。一人ひとりそれぞれ人
生の道半ばです。嬉しいことや悲しいこと、これ
までも色んなことがあったでしょう。そしてこ
れからもまた幾多の試練が待っていると思います。
仏縁ということを思います。私たちはこうして
お寺で仏さまのご縁をいただきました。どんな状
況にあっても、仏さまは私をあなたかく見守り、
いつも一緒にいてくださいます。

お寺は私たちみんなの懐かしい古里です。みん
なの顔を見て「お帰らなさい」という気持ちでいっ
ぱいでした。そして「いつてらつしやい」と心の
中で声をかけました。

またお寺に帰って来てほしいと思います。
成人式の後、みんなで除夜の鐘を撞きました。

真宗門徒の日々のたしなみ

親しい方のお命日に、月参りのご縁を

月参りは、円光寺では月に一度住職がご門徒のお家にお参りするご縁です。

月参りの日は、大抵お家のご先祖の方のお命日、亡くなられた日をご縁といたします。

お仏壇・ご本尊の阿弥陀さまにお礼をさせていただき、私たちより先に阿弥陀さまのお浄土に生まれて阿弥陀さまと同じさとの仏さまに成られたご先祖有縁の方々を偲ばせていただきます。

お命日には、つとめて阿弥陀さまのお浄土であるお仏壇を、きれいにおかざりさせていただきますましょう。

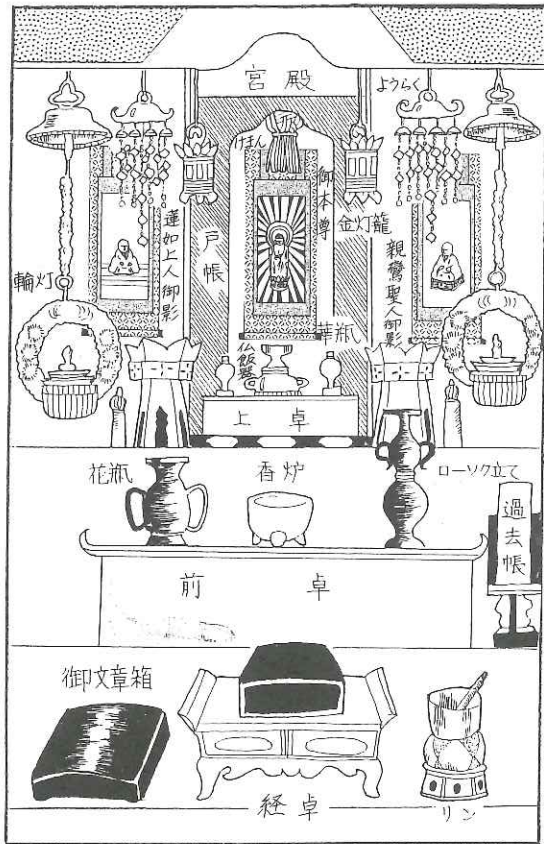
おあかり(ろうソク)は明るく、お花は清らかに、お香はかぐわしくありたいものです。そしてお仏飯をお供えしましょう。

最近パン食のご家庭が増えて、朝ご飯を炊くことが少なくなっているようですが、お命日にはお仏飯の分だけでもご飯を炊いて仏さまにお供えしましょう。お仏飯はお勤めが終わってからさげて、おさがりを頂いてください。

月参りの日は、家族一緒に心静かに迎えましょう。いつもは

朝から晩まで忙しいお互いですが、せめてこの一日はご先祖を偲び仏さまのお徳を讃嘆(よこびた)たえ(る)して、ゆつくりゆつたりと過ごしていただきたいと思ひます。

特に亡くなられた同じ月の命日を、祥月命日といひます。先に往かれた皆さんの有縁のご先祖は何人いらつしやいますか。月命日の月参りをされていひないお家も、祥月命日のお参りをオススメいたします。どうぞその都度お寺に申し込んでください。



平常時の仏具の配置と名称 (例)

お仏壇はスッキリと！これがおかざりの大事なポイントです。

仏壇のなかには写真や他宗のお札・お守りなどは置きません。過去帳(又はくり位牌)は下段の隅に置きます。お仏壇は、ご本尊・阿弥陀如来を安置するところで、先祖をまつるものではないからです。

ご本尊の前に三具足(中央に香炉、右にろうそく立て、左に花瓶)又は五具足(外から花瓶一对、ろうそく立て一对、中央に香炉)を置きます。打敷は普段は掛けず、お盆や法事、報恩講の時に掛けます。餅、菓子、果物などをお供えし、水やお茶、魚・肉のたぐいやお酒はお供えしません。

お仏壇はスッキリと！

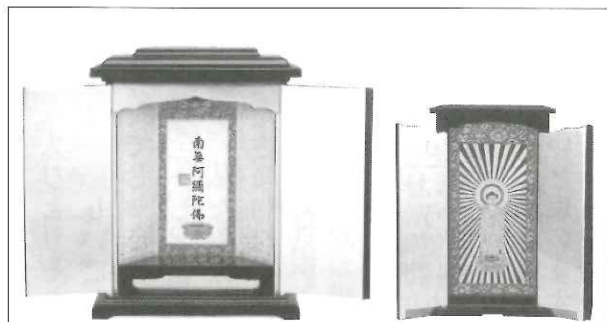
お仏壇・ご本尊は家庭の中心です

私たち門徒はご本尊を中心にお念仏薫る生活を送りましょう。

生活様式が変わってきた現代では「お仏壇を置くスペースがない」という声をよく聞きます。そんな方には、従来のお仏壇にご安置するご本尊のほか、「いちょう」と「きく」というご本尊があります。

「いちょう」は高さ24センチ幅19センチ、「きく」は高さ17.2センチ幅10.3センチと非常にコンパクトです。ともに阿弥陀如来の絵像と「南無阿弥陀仏」の六字名号の2種類があります。

お仏壇に安置するご本尊は本山からお受けしましょう。



「いちょう」ⓐと「きく」(それぞれに名号と絵像があります)

お朝事「法話」より

アメリカ大リーグのイチロー選手が、年間最多安打の大リーグ記録を、八十四年ぶりに塗り替えたということです。

そこで一躍脚光を浴びたのが、ジョージ・シスラーという、今までの記録保持者だといえます。八十四年前の当時は、ベーブ・ルース、ルー・ゲーリックといった大選手がいて、ジョージ・シスラーという選手がいたということすら、アメリカの人はほとんど知らなかったといえます。イチローの記録達成によって、ジョージ・シスラーという選手がよみがえったのです。

先日、五十回忌のご法事のご縁をいただきました。年輩の参詣者にまじって、お家の若いご夫婦そしてお子さんが数人一緒にお参りでした。お勤めの後のご法話で、「今日五十回忌を迎えられた方のことを知らない人も多いと思いますが、知らないからこそ今日のご縁は大事なんです」とお話ししました。

私がこの世で現実に会ったことがない、知らないご先祖も、そのご先祖の一人でも欠けていたら、今のこの私は存在しませ

ん。私にとってご先祖はどの方もかけがえのない方なのです。

私たちは日頃自分のことで精一杯で、ご先祖のことを思うことはほとんどありません。だからこそ法事はきちんとお勤めしていただきたいし、年輩の皆さんはご先祖の方々のお話をしてほしいと思います。

私をご先祖を忘れることはあっても、ご先祖の仏さまは私のことを決して忘れてはしません。いつでもどこでも私のことをずっと見守っていてくださいます。そういう仏さまに成ってくださいたのです。

八十四年前どころの話ではない、名前も何も知らないけれども、数を数えられないほどたくさんの方々のいのちの歴史をいただいで、恵まれたこの私のい

のちです。

ジョージ・シスラーという人があつて今のイチローがあるといつていいのです。大きなのちのつながりの中に、この私が今生きているのです。大いなるいのちに育まれて生かされているのです。

阿弥陀さまは、無量のひかりといのちの仏さまです。南無阿弥陀仏とお念仏申して、このいのち大切に今日も一日生きてまいります。 (十月四日)



「おあさじ」にお参りしましょう！

◆毎朝6時30分より

【本 堂】「正信偈和讃」読誦

「御文章」拝読

法話聴聞

「生活信条」唱和

※日曜日は、加えて

「阿弥陀経」読誦

『西本願寺の時間』

【納骨堂】「讃仏偈」読誦

【お内仏】「重誓偈」読誦

☆第二日曜日は「おあさじの会」

で、お勤めの後、朝食をご一緒にします。

世々生々

今年には戦後還暦の年といわれます。終戦から既に六十年が経ちました。ここにきて憲法改正論議が急です。特に第九条の戦争放棄についてです。

世界でも希有な平和憲法です。しかし憲法の条文とかけ離れた現実があり、主権国家として軍隊の保持と専守防衛を明記すべきだと、改憲論者はいいます。

◆戦後日本の復興はこの平和憲法なくては語れません。一方で「平和ボケ」といわれました。

平和憲法のもとに安穏として、現実には日本が外国から武力で攻撃されたらどうするのか。「普通の国」として当然でしょうか。調子で、戦争は「普通の国」を英雄にも殺人者にもします。どこにでもいるごく普通の人が、敵味方に分かれて殺し合います。家族を悲しみのどん底に突き落とします。名作『私は貝になりたい』でフランキー堺扮する普通の理容師が戦争で上官の命令で敵兵を殺し、後に裁判で絞首刑になります。◆「普通の人で生きていたかった」。戦争は普通の人を普通の国を変える。

私たちがの先人は身をもって教えています。そのことを私たちは学んでいかなければなりません。

(住職)

お浄土への人生

シリーズ

『同行さん』④

百華の集い

浄土真宗門徒として、知っておいていただきたいこと(仏教・浄土真宗の教え)や、身につけていただきたいこと(日々のお勤め、仏壇のお給仕)を、一年間(十月から九月まで)十二回のプログラムで学んでいます。友達、夫婦、ご近所の小グループで行います。

毎月一回一時間半の日程で、テキストは『浄土真宗聖典』(黒本)と『浄土真宗必携』(赤本)です。本堂でお勤めの後、必携を全員で輪読していきます。



◀記念の式章で修了式(ずすらの会)



▶輪読会のようす(こすすの会)

声に出して本を読むことがなくなつた私たちの日常ですが、声に出すことで何か新鮮な感じがしていいものです。難解な仏教用語があり、なかなか理解できるところまではいきませんが、とにかく一通り読み通すことを目標にしています。

次にお茶をはきんで、皆さんからの疑問質問をお聞きします。特に質問が多いのは仏壇の荘厳についてです。わからないことは直接住職に聞いてくださいと

『坊守さんのパン工房』開店です!

昨年の六月一日に『坊守さんのパン工房』を開店しました。六年前から毎月一回行っているお菓子教室(メンバー十名)でも多くの皆さんにお寺をもつともっと身近に感じていただければと思つて始めました。ハラハラ、ドキドキの開店で、初回は生地に塩を入れ忘れたり、冷や汗ものでしたが、お菓子教室の浜崎敏美先生はじめ周りの方々があたたく支えてくださり、一年が過ぎました。月

いつても、なかなか人にものを聞くという事は難しいことです。しかし、こうしたご縁では次から次へと質問が続きます。「私もそれがわからなかった」と、皆さん共通の話題になつて会が盛り上がりします。わかっていたつもり、正しいと思ひ込んでいたことなど、疑問が晴れて喜ばれます。

二十年ほど前、仏教婦人会の役員中心の「こぶしの会」、若い女性の「すみれの会」ができましたが、三年前から百華の集いを再開しました。「れんげの会」(六名)「ずすらの会」(十名)に続き、昨年の九月からは「こ

一回程度の開店ですが、買いに来てくれた人たちと、子育てのことや身近な話題に花が咲き、情報交換の場にもなっています。天然酵母を使った手作りパンです。焼き立てあつたかおいしいパンです。おすすめは、あんパン、食パン、カレーパン、クロワッサンなどです。開店の日には、朝からおいしい香りが、お寺の中いっぱいたちこめます。どうぞ一度お立ち寄りください。お待ちしております。(坊守)

すもすの会(九名)が始まりました。

秋の彼岸会で修了式をします。修了者には、百華の集いオリジナルの式章を記念に差し上げます。このご縁が仏法聴聞のスタートになつてほしいと思います。百の華の会の達成は難しいことですが、百人の同行の華が咲くことを当面の目標に、これからも続けていきます。どうぞ皆さんもご参加ください。お待ちしております。



▶焼きたてのパンが並びます



◀スタッフ(左から植木、浜崎、坊守)

あ と が き

卒業・入学のシーズンです。人生の新たな出発に臨んで、期待と不安の入り交じる若者たちにエールを送る。失敗を恐れず、自信をもって今できることを精一杯やってほしい。大丈夫だ!